

外 問

小 論 文

(外国学校出身者)

令 和 6 年 度

注 意

1. 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題は1冊(本文8ページ, 下書用紙2枚), 解答用紙は2枚である。下書用紙は問題冊子の中にはさみこんであるので引き抜いて使ってよい。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入する。

(例) 受験番号 G 8101 番の場合 →

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| G | 8 | 1 | 0 | 1 |
|---|---|---|---|---|

4. 解答は解答用紙の所定の位置に書くこと。他の所に書くと無効になることがある。字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。解答文は横書きとする。
5. 解答用紙の余白は採点者が使用するから、誤字脱字の訂正のほかは使ってはいけない。
6. 書き損じても、代わりの用紙は交付しない。
7. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

以下の文章は、宇野重規「コモンズ概念は使えるか——起源から現代的用法」待鳥聡史ほか編『社会のなかのコモンズ——公共性を超えて』（白水社、2019年）からの抜粋である。これを読んで、以下の3つの問題に答えなさい。なお、出題にあたって、本文の一部に改変および省略がある。

1. 下線部①について、筆者は、「コモンズ」という概念に一貫して存在する内容を、どのようなものだと理解しているか。300字以内で説明しなさい。
2. 下線部②について、「コモンズ」という概念を現代において使用する意義があると筆者が考える理由を、300字以内で説明しなさい。
3. 本文が述べるような現代の「コモンズ」について、具体的な事例を挙げた上で、その事例が「コモンズ」として機能していると考えられる理由と、その限界を1000字以内で検討しなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。

著作権保護の観点から、
公開していません。